

令和2年度 学校関係者評価

次の評価基準に従って8名の開かれた学校づくり委員から評価していただきました。

(3：学校の自己評価は妥当である 2：学校の自己評価は概ね妥当である 1：学校の自己評価は妥当ではない)

評価項目		学校自己評価	学校関係者評価 (平均値)
学校教育目標	学校の教育目標・教育方針が生徒・保護者によって理解され、その達成に向けて職員が取り組んでいる。	A	2.9
学力向上・教育課程	学校は、授業の工夫・改善に努め、単位制を生かした少人数指導や習熟度授業、課外授業等を通して生徒の学力向上に取り組んでいる。	B	2.9
キャリア教育・進路指導	学校は、生徒の進路実現を支援するため、適切な進路情報を提供するとともに、生徒・保護者のニーズを踏まえた進路指導に取り組んでいる。	B	2.9
生徒指導・教育相談	学校は、生徒の悩みや相談に応える環境づくりに努め、いじめや暴力のない安全・安心な学校づくりに取り組むとともに、頭髪・身だしなみや礼儀等を身に付けさせるよう取り組んでいる。	B	2.9
学校生活	学校は、生徒が部活動や学校行事に積極的に取り組み、充実した学校生活を送れるよう取り組んでいる。	B	2.9
情報発信	学校は、ホームページやメール等を通じて、生徒・保護者・地域への情報発信に取り組んでいる。	A	2.9
学校・家庭・地域との連携	学校は、PTA活動や開かれた学校づくり委員会等により、家庭や地域と適切に連携している。	B	2.8
不祥事防止・働き方改革	学校は、不祥事防止に適切に取り組んでいる。また、働き方改革を踏まえ、職員の心身の健康に適切に配慮している。	B	2.9

【開かれた学校づくり委員からの御意見等（抜粋）】

○高校生になるとなかなか学校のことを話してくれませんので、学校からの情報発信が必要です。ホームページで、例えば、「昼休みの様子（2年生）」、「今日の部活動の様子（弓道部）」、「今日の登校の様子」、「試合や練習試合の結果」など写真を添えて発信していただくと「こんなふうに住んでいるんだ」や「部活ではこんな表情でやっているんだ」など、家庭では見られない姿が見られると思います。学校で見せるなげない表情などは親にとってはうれしいと思います。

○学校の教育目標と高校生活の項目で、生徒及び保護者の9割が肯定的回答をしていることに驚いています。過疎地域で、コロナ禍にあっても安房高が生徒、保護者の期待を受け止め、努力している結果と考えます。先生方の行動はそのまま生徒に伝わります。傍観者ではなく、自分たちのために行動してくれる先生方をいつの時代でも生徒は求めていると考えます。先生方一人一人の力が発揮され、安房高での教育活動にやりがいを感じていただきたいと切望します。

○新型コロナウイルス感染症により、学校経営、教科経営、部活動経営等の対応は容易なことではないと思いましたが、生徒からの評価を見ますと十分であったと思います。

○知人からも安房高生が活躍していると聞き、嬉しく思います。先生方の御指導の賜物です。

○コロナ禍での学校運営は大変なことと思います。学校評価アンケートを見ますと、生徒・保護者・職員とも多くの項目で評価が向上しており、職員のみなさんの努力、熱意を感じます。単位制をさらに発展させてほしいと思います。

○貴校職員全体でよりよい学校づくりを目指していることがアンケート等を通して伝わってきます。生徒・保護者とも肯定的で貴校の努力が伝わっていると思います。学習については、課外授業の更なる改善、きめ細かい学習指導の工夫を実践していただければと思います。